



学校だより

大田区人権教育研究協力校

「みんながいる わたしがいる
さしのべる 生きている」

令和6年3月25日

大田区立糀谷中学校

自ら学び考えることができる生徒

感性豊かで思いやりのある生徒

心身ともに健康な生徒

3月号②

令和5年度を振り返って

校長 小島 宏一郎

先週、東京の桜の開花が平年並みの3月24日になるとの予想が発表されましたが、学校の桜はまだ開かないようです。昨年は卒業式の前に、桜が咲き始めていましたが、今年は3月に寒さがぶり返し、初めの予想よりも開花が遅くなりました。新学期に桜が残っているといいですね。

さて19日に第70回卒業式を挙行いたしました。今年度の卒業生は、新型コロナウイルス感染が始まった翌年に、入学した学年です。制約の多い中で中学校1,2年の生活を送りましたが、3年生になってコロナが感染症の5類になり、平常の生活が戻り、卒業式も多く保護者や来賓の方々に祝っていただき、立派に巣立っていきました。

1,2年生の参列は、卒業式当日は生徒会役員の7名だけでしたが、3月11日に3年生を送る会で、3年生とのお別れの会を実施しました。送る会では、1,2年生一人一人が書いたメッセージカードを貼ったポスターが1,2年の学級委員から3年に手渡されました。メッセージカードにはお世話になった3年生への御礼や高校生活に向けての応援の言葉がたくさん書かれていました。2年生のメッセージの中には、「行事など、学校全体を引っ張っていく姿が印象に残っています。3年生のような3年生になれるように頑張ります。」「生徒発表会などを見て、協力、本気でやることの素晴らしさを教えられました。これからは、自分たちが糀谷中学校を引っ張っていくので安心して卒業してください。」など、来年度は自分たちが学校を引っ張っていくという強い思いが感じられる言葉がたくさんありました。

また、卒業式では、生徒会長の玉水蓮さんが「卒業生を送る言葉」を読み上げてくれましたが、その言葉の中に、「行事や部活、学校生活をともに過ごす中で、先輩方からは何事にも全力で取り組み続けることの尊さと意義を学びました。途中で投げ出さず最後まで誠心誠意やり切る精神を受け継ぎ、僕たちも後輩にバトンを必ず繋げていきます。」という言葉がありました。2年生が、3年生になってどんな姿を見せてくれるのか、楽しみにしています。

1年間を通してみると、コロナが5類になったとはいえ、年間を通してコロナやインフルエンザに罹患する生徒がいました。学級閉鎖は1年生2クラスで行いました。年間を通して、健康管理や感染防止の意識を持ち続ける必要があると感じました。御家庭でも、御協力よろしく願いいたします。

学習面では、1人1台のタブレットPCの利用も3年目に入り、少しずつ活用の幅が広がってきました。しかし、来年

度はこれまで、使用頻度の高かったアプリが使えなくなることなどの課題もあるので、研修を続けながら、より有効に使えるようにしていきたいと思います。生徒の活用についても、授業に関係の無い使用をしている者もいましたので、活用のルールの徹底や、情報モラル教室の充実に努めていきたいです。ご家庭の協力を得ながら、生徒が有効にかつ安全にタブレットの活用を進めていけるようにしてまいります。


学校行事については、5月の体育祭や10月の生徒発表会など、保護者の皆さんの人数制限をも設けずに実施できるようになりました。たくさんの方々に学校に来ていただきご参観いただくことができました。保護者の皆様にも実際に見ていただき応援していただくことが子供たちの励みになります。来年度も、引き続きご協力お願いいたします。

また、今年度は開校70周年の記念の年でしたので、それに合わせて、様々な行事や取組を実施することができました。11月25日には、開校70周年記念式典と祝賀会を実施しました。1月には、祝賀会のアトラクションで演奏してもらった大元組さんに、生徒に向けて和太鼓の演奏を披露してもらいました。3月には東京都の事業である「笑顔と学びのプロジェクト」で古典芸能の鑑賞、学校寄席を開きました。落語家の一玄亭米多朗さん、林家たい平さん、漫才師のナイツさんなどが来てくださり、こどもたちを笑顔にしてくれました。落語家の一玄亭米多朗さんは、本校の第28期卒業生です。

その他の行事では、2年生の職場体験は地域の36事業所に協力していただき11月28日から30日の3日間で行いました。1年生は、羽田空港出前講座として、東京空港局東京空港事務所の方から「羽田空港の概要」のお話を聞き、4つのグループに分かれて、客室乗務員、航空整備士、グランドハンドリング、東京航空地方気象台方から仕事についての紹介してもらいました。3年生は、卒業期の取組の一つとして3月11日に「福祉体験」を実施しました。包括支援センター糀谷を窓口にて区内の23事業所から55名の方に来ていただき、高齢者体験や認知症についての学習を実施しました。

保護者の皆様には、十分に学校の様子をお伝えすることができなかったにもかかわらず、本校の取組にねぎらいのお言葉をたくさん頂戴いたしました。温かなご理解とご協力に心より感謝申し上げます。1年間ありがとうございました。

次のページで、卒業式で挨拶をしてくれた在校生代表と卒業生代表の言葉を紹介いたします。



「卒業生を送る言葉」

春風に誘われ花々の蕾もふくらみ始め、門出にふさわしい芽吹き季節となりました。在校生一同がこの場に集まることはできませんが、一人一人の思いを代表して、お祝いの言葉を述べさせていただきます。今日、この糀谷中学校を旅立つ皆さん、ご卒業おめでとうございます。

先輩方と過ごした日々が今、懐かしく思い出されます。思い返せば今日まで、僕達は先輩方の大きな背中を追い続けてきました。

最初の一大行事である体育祭では、どの競技にも全力で取り組む姿が心に残っています。

特にムカデ競争では、何度転んでも立ち上がり、最後まで前を向き諦めない姿に固い絆を感じました。三年生の闘志溢れる姿を目の当たりにし、自分たちもこんな風になりたいと強く感じた瞬間でした。

そして、何より一番三年生の団結と気迫を感じたのは生徒発表会の合唱です。練習の時、パートリーダーや指揮者が中心となり改善点を話し合っている姿には無駄がなく、全員が同じ気持ちで良い歌にしようとしていました。その真剣な姿に僕たちは圧倒され、クラスの心が一つになることはこんなにも胸を打つのだと感じました。体育館に響き渡った魂のこもった「群青」は、

在校生代表

聞いていた人たちの胸にずっと残り続けると思います。

先輩方と一番多く接した部活動では、何もわからない僕たちに基礎から丁寧に教えてくださいました。

そんな中でも気を緩ませることなく真剣に練習に取り組む姿に憧れていました。力強く叩く姿が誰よりも格好良かったです。三送会の席で涙を流す後輩たちがいたこと、先輩方がいかに信頼され慕われていたかが伝わってきました。

別れがこんなにも惜しいのは、僕たち後輩のためにたくさんの物を残してくださったからです。今、心からの感謝を伝えたいです。

行事や部活、学校生活をともに過ごす中で、先輩方からは何事にも全力で取り組み続けることの尊さと意義を学びました。途中で投げ出さず最後まで誠心誠意やり切る精神を受け継ぎ、僕たちも後輩にバトンを必ず繋げていきます。

そして、そんな先輩方だからこそこの先どんな険しい道があろうとも乗り越えていけるはずです。眼前に広がる広大な道筋へ、今、力強く一步を踏み出してください。

先輩方がそれぞれの進路先で飛躍し、希望と可能性に満ちた未来へ進んでいかれることをお祈りし、贈る言葉といたします。



「卒業生別れの言葉」

私たち、149名は、自らの手で夢を掴むため、この糀谷中学校を卒業します。私の心の中には、数えきれないほどたくさんの思い出が、昨日のことに蘇ってきます。

期待と不安で胸がいっぱいだった2年前の春。大きめの制服に身を包み、少し大人になれたような気がした入学式。クラス発表では、知らない名前がたくさんありましたが、2年たった今では、明るく元気な仲間と共に過ごすことができ、とても幸せでした。

5月に行われた体育祭は、中学校生活、初めての行事でした。優勝を目指し、クラスみんなで団結して取り組んだ練習は今でも忘れません。

生徒発表会は、他学年の合唱を教室で鑑賞する形で開催されました。このような制限の中でしたが、どのクラスも最高の歌声を披露することができました。

1年生では、コロナウィルスの影響で、学校生活が左右されることがあり、不安なことも多くありました。そんな中でも、1つ1つの行事に一生懸命に取り組むことができ、達成感を感じた1年間でした。

2年生になり、私たちに初めての後輩ができました。「先輩」と呼ばれることに違和感を覚える日々でしたが、部活動や委員会活動を通して、少しずつ自覚

卒業生代表

を持って行動することができるようになりました。2学期の職場体験では、働くことの大変さや厳しさ、そして大切さを学びました。また、部活動では、私たちが中心となり後輩たちを引っ張っていく立場となりました。目標に向かって練習に励み、喜びや悔しさをみんなに分かち合えたことは、忘れることのできない大切な思い出となりました。

3学期には、都内巡りをしました。たくさんの時間をかけ、行き先や電車の時間を、班員で決めました。当日は、道に迷ったり、集合時間に間に合わなかったりなどのアクシデントが発生した班も、いくつかありました。先生や親が近くにいらない状況で、友達と協力して経路や時間を調べて目的地まで辿り着けたことは、達成感を覚えるとともに、とても貴重な経験となりました。

2年生を振り返ると、楽しいことがたくさんあった反面、先生にたくさん叱られた1年間でした。2年間の失敗や反省を糧に、来年からは最高学年となる自覚を持ち、中学校最後の1年を迎えることにしました。

中学校最後の体育祭。学年種目であるムカデ競争では、どのクラスも体育着が砂だらけになるほど練習を重ねました。何度転んでも、繰り返し立ち上がり、クラスで息を合わせながら、ゴールまで駆け抜けました。

部活動では、3年間積み上げたものを発揮することができました。同じ目標に向かって流した汗や涙は、かけがえのない宝物となりました。

そして、待ちに待った9月の修学旅行。長い時間をかけ、計画を立てました。金閣や東大寺などの歴史的建造物を直接見たり、鹿と触れ合えたりと、京都や奈良でしか味わえないことをたくさん経験することができました。また、現地でしか食べられないものや宿舎での漆器体験などの楽しい思い出も作ることができました。3日間共に生活する中で、友達との仲をより深めることができました。

そして、最後の生徒発表会。練習から、どのクラスも気合いを入れ、大きな声で歌っていました。実行委員やパートリーダー、指揮者、伴奏者を中心に、改善点を見つけ、より良い合唱を、クラスみんなで作り上げました。本番では、どのクラスも迫力のある歌声を、体育館中に響かせ、1・2年生をリードすることができました。


生徒発表会が終わり、いよいよ受験シーズン。1人1人が、自分の進路と真剣に向き合い、毎日の勉強や小論文、面接対策をしました。受験の日が近づくとつれ、次第に焦りが出てきたり、やってきたことが正しかったのか不安になり、暗い気持ちが続く日々でした。しかし、まわりを見ると、同じように受験対策に励んでいる友達がたくさんいました。友達や家族、先生方の支えがあったおかげで、受験という大きな壁を乗り越えることができました。思い通りの結果にならなかった人もいましたが、仲間が合格した時には「おめでとう」と喜びを分かち合いました。受験生として過ごした1年間は、最後まで自分たちらしい1年間でした。

振り返ってみると私たちは、3年間のうち1・2年生の頃はコロナウィルスに左右されることの多い日々で

した。その中で、学校に行き、仲間や先生と共に学校生活を送れたことが、いかに幸せであったかを実感しました。「あたりまえが幸せと知った」。「群青」の歌詞にあるこの言葉を強く感じた学校生活でした。私たちは3年間、様々な行事や活動を通して、1つ1つ振り返りながら、反省し、改善し、1歩1歩成長してきました。そんな私たちの成長を1番近くで手助けしてくれ、支えてくれたのは家族です。本気で気持ちをぶつけあったり、時には私たちの相談相手となったりしていただきました。その度に、私たちは前向きに物事を考えることができ、「自分は決して1人ではないんだ」と感じ、大変勇気づけられました。両親には、言葉では表現できないほどの感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。そして、これからも私たちのことを応援してください。

また、行事に全力で取り組む、明るく元気の仲間、委員会や係の仕事を毎日欠かさず行い、クラスを陰で支えてくれた仲間。そんな仲間がいたからこそ、3年間を乗り越えられたのだと思います。そして、いつも成長の場を作ってくださったのは、先生方でした。今日までかけていただいたたくさんの言葉は、私たちの心の支えになりました。本当にありがとうございました。

私たちは今日、この糀谷中学校を卒業し、1人1人が新たなスタート地点に立ちます。「解答用紙はあなたのこれからの人生」、「採点基準はあなたのこれからの人生」。これは歌手RADWIMPSの歌「正解」の歌詞の一部です。これから、私たちは、自分の道を自分で選択していきます。そして、それを正解にするのは私たち自身です。これから踏み出す正解へ向けた新たな1歩への希望と、3年間支えてくださったすべての皆様、15年間見守り続けてくれた家族への感謝の気持ちを込めて、新しい場所で飛躍することを決意し、別れの言葉といたします。

 卒業式 その他の担当生徒	卒業生の歌「群青」指揮	さん(3D)	／	伴奏	さん(3A)	
	校歌	指揮	さん(3D)	／	伴奏	さん(3C)
	式次第	揮毫	さん(3C)			

卒業表彰 3年生を送る会の開会式で、優良卒業生と体育優良生徒の表彰を行いました。優良卒業生は、東京都産業教育振興会から贈られる賞で、技術・家庭科の学習に熱心で、実験や実習に積極的に創意工夫し、産業教育に関わる展覧会、発表会等に出品したり、研究に努めたり、卒業後の進路に目的をもって意欲的に取り組む生徒に贈られます。体育優良生徒は東京都体育協会と東京都中学校体育連盟が行う顕彰で、在学中に学習によく励みながらスポーツ活動にも率先して取り組んだ生徒で、他の模範となる生徒に贈られます。受賞生徒は以下の通りです。

《優良卒業生》 さん(3B)、 さん(3C)、 さん(夜間学級)
《体育優良生徒》 さん(3B)、 さん(3B)

生徒の活躍の記録から

【男子バスケットボール部】 令和5年度 大田区中学校バスケットボール冬季大会 第3位	【バレーボール部】 令和5年度 大田区1年生大会 3位リーグ 優勝
--	--

教職員の退職・異動(転出)について

退職・定期異動により本校を去る教職員を紹介します。一部(昼間部)、二部(夜間部)共に修了式の後に離任式を行い、生徒とのお別れをしました。

退職	校長	(経営) (5年間)	再任用満了 教育相談専門員として大田区指導課へ
	主任教諭	(社会) (10年間)	再任用満了
	主任教諭	(英語) (6年間)	勸奨退職
	主任養護教諭	(2年間)	勸奨退職
	部活動指導員	(3年間)	任期満了
異動	主任教諭	(国語) (5年間)	文京区立音羽中学校へ
	主任教諭	(英語) (1年間)	杉並区立大宮中学校へ
	教諭	(数学) (6年間)	荒川区立原中学校へ
	《二部(夜間学級)》		
	主任教諭	(社会) (6年間)	大田区立蒲田中学校(日本語学級)へ
教諭	(国語) (1年間)	東京都立あきるの学園へ	



※来年度、転入する教職員については4月にお知らせいたします。

転出者の御挨拶(昼間部)

北糀谷小学校から異動してきてから早5年がたちました。その間には学力向上や生活指導の課題だけでなく、コロナ禍での学校運営やGIGAスクールの推進、大規模の改修工事、開校70周年行事の開催など特別な課題も多々ありました。様々な課題に教職員とともに取り組み乗り越えられたのは、保護者の皆様のご理解とご協力、地域の皆様のご支援があったからです。心より感謝いたします。生徒の皆さんには、「明るい挨拶」と「行事に全力で取り組む」糀谷中の伝統に誇りをもち、皆が互いに理解しながらさらに生き生きと生活できる学校を作り上げてくれることを期待しています。5年間ありがとうございました。()

6年前、糀谷中に赴任し1年生を担当しました。その学年は2年生の終わりからコロナ禍が始まり、修学旅行は中止、行事は延期など、卒業式まで手探りの日々でした。しかし、生徒たちは制限のある中でも工夫して力強く学校生活を送り、立派に卒業していきました。後半の3年間も担任をさせていただき、先日感動的な卒業式を終えました。「日常」のありがたさを多くの場面で感じた3年間でした。生徒たちのパワーと笑顔、そして保護者の皆様に支えられた6年間でした。糀谷中での多くの方々との出会いを原動力に、次のステップに進んで行きたいと思っております。素敵な時間、素敵な思い出をありがとうございました。()

私は、10年間糀谷中学校でお世話になりました。一番の思い出は、「生徒が人懐っこい」ところです。卒業生がよく顔を見せに来てくれるフレンドリーな学校です。先日高校を卒業したばかりの何人かが、これからの進路などを語ってくれました。以前、私が帰宅途中で糀谷液に向かって、自転車に乗った卒業生が私に気付き、わざわざ「池本先生～」と呼びながら追いついてきて声をかけてくれたこともありました。その時はビックリすると同時に嬉しかったことを良く覚えています。和太鼓部の顧問としても地域の方々に大変お世話になりました。浜竹神社の祭礼では和太鼓を当たり前のように運搬して下さり、とても感謝しています。地域の力と団結を感じました。生徒達は未来を担う宝物。地域や日本、世界を支える宝を磨き育てる仕事に携わることが出来たことを誇りに思っています。

4年前、2学年の担任として糀谷中学校での生活がスタートしました。当時の2年生はいきなり登場した先生が担任ですから不安だったと思います。しかし、初めこそ少し戸惑っていましたがすぐに人懐っこく声を掛けてくれるようになりました。育休から復帰した際も2学年に入らせていただきました。そこでもやはりみなさんが人懐っこく声をかけてくれました。みなさんの優しさに助けられた日々でした。「人懐っこさ」それは人間関係を築くうえでの第一歩です。そこからどう信頼を築いていけるのか、自分の中に芯となる「ものさし」を作っていくべきですね。『徳は孤ならず必ず隣あり』。素敵な仲間を作っていくべきです。ずっと応援しています。()

最後に、5年前がん患者となり約1年2ヶ月病気休暇となりましたが、闘病中も復帰後も校長先生をはじめ本当に沢山の方々に支えて頂いて仕事を全うすることが出来たことに言葉が見つからないくらい感謝しています。本当にありがとうございました。皆様のこれからの人生が豊かにものでありますように。()

一年間という短い期間でしたがとてもお世話になりました。1年D組の担任としてたくさんの思い出がありますが、真っ先に思い浮かぶのは、学校で一番賑やかだったところでしょうか(笑)元気な分、小さいことから大きなことまで嫌な思いをした人もいるかもしれません。その都度悩み、考え、向き合ってきました。きっと来年は、去年はこんなもんじゃなかったとちょっとやそっとじゃブレない自分を実感するでしょう。それだけみんなが成長するということです。だから、私は心配はしていません。何かあったら頼りになる学年の先生方を頼ってください。遠くからみんなの成長を願ってます。()

2年間、大変お世話になりました。学校生活も学校行事も一生懸命取り組むみなさんの姿を、いつもまぶしく感じていました。卒業生の身長は平均値は1年生の4月から、男子が11.9cm、女子が4.4cm伸びていました。個人差はありますが、確実に一人一人が成長しているのです。心身ともに変化のある時なので、悩みも多いかもしれません。そんな時は周りの人に話してみよう。「わかるよ、その気持ち」と言ってくれる人がきっといるはずですよ。「わかるよ、その気持ち」と言ってくれる人がきっといるはずですよ。みなさんの幸せを祈っています。()

1、2年生の皆さん数学科の増田です。先日3年生を卒業させて改めて思ったことがあります。中学校生活は長いようで短いので、当たり前の日々を精一杯過ごして欲しいということです。ある子が合格発表日に話してくれました。「当日は、いつも以上の力を発揮できたけどもっと家庭学習や提出物を大切にすれば良かった…」と。そう言って卒業していきました。1、2年生の皆さんにはまだ時間があります。その時間をどう過ごすかは自分次第です。4月からは新しい学年、学級で充実した1年を過ごしてください。先生も新しい場所で、これまで以上に子どもたちと青春します。今まで、ありがとうございました。()

3月で退職することになりました。部活動指導員や登校支援の仕事をする中で、皆さんと沢山関わったことや近くで成長を見ることができたことに凄くやりがいを感じました。中学校の3年間はあっという間に過ぎてしまうので、悔いのないよう全力で楽しんでくださいね! またいつか皆さんに会える日を楽しみにしています。ありがとうございました。()